

青森県と新潟県で高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜を確認！

中丹家畜衛生情報（No. 28-23）

平成 28 年 11 月発行

平成 28 年 11 月 28 日、青森県食用あひる農場及び新潟県養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜が確認されました。また、韓国でも高病原性鳥インフルエンザの発生が 32 件（あひる 28 件、鶏 4 件）と拡大しています。

鶏舎防鳥ネットの破損の点検と鶏舎出入口での消毒を徹底してください。また、いつもより死亡羽数が多いなどの異常を確認したら、ただちに当所まで通報をお願いします。

【概要】

1 青森県青森市 食用あひる農場

飼養状況：約 1 万 6 5 0 0 羽

- 11 月 28 日、死亡あひる増加等の通報を受け、簡易検査を実施。10 羽中 9 羽陽性。
- 同日、遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザ H5 亜型を確認。
- 飼養家さんの殺処分及び焼埋却、移動制限区域の設定など防疫措置を実施

2 新潟県関川村 採卵鶏農場

飼養状況：約 31 万羽

- 11 月 28 日、死亡鶏増加等の通報を受け、簡易検査を実施。5 羽中 5 羽陽性。
- 11 月 29 日、遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザ H5 亜型を確認。
- 飼養家さんの殺処分及び焼埋却、移動制限区域の設定など防疫措置を実施

予防対策の再点検と消毒の徹底を！

- 1 野生動物 侵入箇所がないか再確認！
侵入防止対策
- 2 防鳥対策 網目 2 cm 角以下の防鳥ネットを張り、野鳥等の侵入を防止。
- 3 人・車両対策 出入り口でウイルスを遮断！
 - 農場専用の手袋、作業靴、作業衣の着用。
 - 鶏舎出入口の踏み込み消毒槽による消毒。
 - 消石灰散布による消毒。
- 4 飲用水対策 飲み水の消毒の徹底！